



監査委員の決算審査・ 財政健全化審査意見（要約）

○ 審査に付された一般会計、特別会計及び上水道事業会計の歳入歳出決算書・歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査及び財産に関する調査は法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りないものと認められた。又、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており、誤りのないものと認められた。

○ 平成26年度の日本経済を振り返ってみると、政府の「三本の矢」からなる経済政策等を背景とし、雇用、所得環境に改善がみられ、また、円安の加速により大企業を中心に業績の回復がみられた年度であった。しかし、消費税の引き上げに伴う個人消費等への影響から、特に地方においては景気の回復感弱いものがあつた。

○ 歳入・歳出とも減少額が大きい科目は大部分が震災復旧事業に係っている。前年度で当該事業がほぼ終息、これらの事業費支払いが前年度多額であった当年度これらの歳出額は前年度に比べ大幅に減少、町の財政内容もほぼ震災前の姿に近づいた。正に「町が蘇り新しい鏡石町が誕生」したと言える。

○ 26年度の自主財源の構成比は39.6%、依存財源構成比は60.4%となった。自主財源構成比は前年度比3.7%増とほぼ前年度同様の結果である。但し、自主財源歳入額は前年度比16.1%、87.3千円減少している。要因は町税特に固定資産税の減少、分担金及び負担金、諸収入の減少等である。改善策は、課題である滞納分の収納率向上を含めた町税の増加を図る施策を強力に推進する以外にないと思考する。

○ 現在、町では「第5次総合計画」の推進に営々努力中である。震災からの復興を遂げ、町の将来像である「かがやく」は達成できたものと思う。次の段階である「かがやく」の達成に向け執行側と町民が一体となり諸策を推進、注目される「鏡石町」となることを期待する。

○ 審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

代表監査委員 根本 次男
監査委員 井土川 好高



第1回定例会本会議

財政健全化判断比率

(単位：%)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	—	15.00
連結実質赤字比率	—	—	—	20.00
実質公債費比率	17.3	15.8	13.9	25.0
将来負担比率	86.1	46.7	29.4	350.0

主要財政分析指標

(単位：%)

	平成25年度	平成26年度
財政力指数	0.520	0.520
経常収支比率	84.1	86.1
公債費比率	15.5	15.3

編集後記

町議会議員選挙が8月に行われ、現職10人、新人2人が選出されました。選挙期間中、町民の皆様の要望等を聞くことができ、町民の代表者として二ノズを町政に反映すべく全力を尽くすとともに、その責任の重大さに身の引き締まる思いでいっぱいです。

今回は新しい議員も編集委員に加わりましたので、開かれた議会を目指し、新たな手法等を取り入れてまいりたいと考えております。

新広報委員一同、より一層努力いたしますので、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。

発行責任者 渡辺 定己
議長 渡辺 定己
広報編集委員会
委員長 小林 政次
副委員長 木原 秀男
委員 橋本 喜一
委員 古川 文雄
委員 菊地 文雄
委員 長田 守弘



No.158
平成27年12月
発行 福島県鏡石町議会
編集 議会広報編集委員会
〒979-0001 福島県若狭郡鏡石町 不持345
電話0248(62)2110
印刷 (株) 永山印刷

かがみい 議会だより

地方創生議会スタート

町議会議員一般選挙が8月30日(日)に行われ、町民の皆さんの代表として2名の新人議員を含む12名の議員が選ばれました。本格的な少子化時代を迎え、全国各地で自治体の維持が問題となっている今、本町でも新たな「まちづくり」が期待されています。こうした期待を担う町議会議員の船出は、まさに地方創生議会のスタートになりました。

議席番号	議員名	当選回数
1	小林 政次	2
2	吉田 孝司	1
3	橋本 喜一	1
4	古川 文雄	2
5	菊地 文雄	2
6	長田 守弘	2
7	畑 幸一	2
8	井土川 好高	2
9	大河原 正雄	5
10	今泉 文克	5
11	木原 秀男	5
12	渡辺 定己	4

常任委員会、議会運営委員会の構成

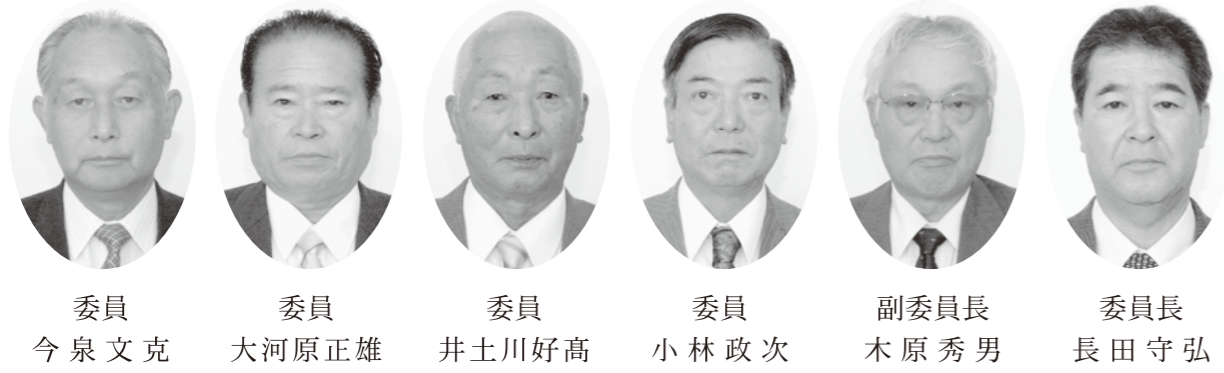
総務文教常任委員長 菊地 洋氏
 産業厚生常任委員長 長田 守弘氏
 議会運営委員長 古川 文雄氏



総務文教常任委員会

産業厚生常任委員会

議会運営委員会



議会選出監査委員



議長に渡辺定己氏を選出 副議長に小林政次氏

初議会 (第1回議会臨時会) 新議会構成が決まる



第1回臨時会議場

第1回議会臨時会が9月8日(火)に開かれました。今回の議会臨時会は8月30日(日)に行われた鏡石町議会議員一般選挙で当選した議員による初めての議会です。初議会は、臨時議長(年長議員)の井土川好高議員が開会を宣言。仮議長指定の後、議長選挙が行われ渡辺定己議員が当選しました。渡辺定己議長が臨時議長と交替し、続いて副議長選挙が行われ小林政次議員が当選しました。この後、議長指定、各常任委員・議会運営委員の選任、一部事務組合議会議員選挙等が行われました。また、監査委員選任同意案件の採決が行われ、井土川好高議員の監査委員選任が同意されました。

副議長就任 のあいさつ 小林政次



今回の初議会におきまして副議長に就任することになりました。議長の補佐役として、開かれた議会の運営を目指すとともに、町民の代表者として、皆様の声を町政に反映すべく努力して参りたいと思います。さて、東日本大震災から4年9ヶ月が過ぎましたが、第1小学校の改築や道路・上下水道等の復旧など、大部分の復興事業は終了しております。しかし、放射線の除染等まだ継続中の事業もありますので、早急に完成させ、今までより

以上を復興・進歩を遂げなければなりません。来年度からは、通常の予算に戻り、町執行・議会の手腕が問われる大事な年となりますので、町民の皆様も議会等を傍聴していただき、議会活動に対し意見を賜りたいと思います。

町民皆様のご協力ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

○略歴
昭和26年1月19日(64歳)
当選2回、農業委員(現)
産業厚生常任副委員長を歴任

議長就任の あいさつ 渡辺定己



今回の初議会において、引き続き議長の要職に就任することになりました。思い返しますと4年前、未曾有の大震災に見舞われた年に議員改選が行われ、その初議会において議長に就任いたしました。以来議会一丸となり、町執行とともに震災からの復旧復興そして日曜議会や子ども議会等に取り組んで参りました。そして本年、改選後再び、議長職という誠に身に余る光栄に浴せますることは、ひとえに町民皆様の御支援の賜物であることを深く肝に銘じたく存じます。これからも議会の活性化と町政発展のため、町執行と歩を合わせて、山積する課題に取り組んで参ります。町民皆様の御支援と御協力を心からお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

○略歴
昭和26年12月18日生(63歳)
当選4回。この間、産業厚生常任副委員長、議会運営委員会副委員長、保健環境組合議員、議長を歴任

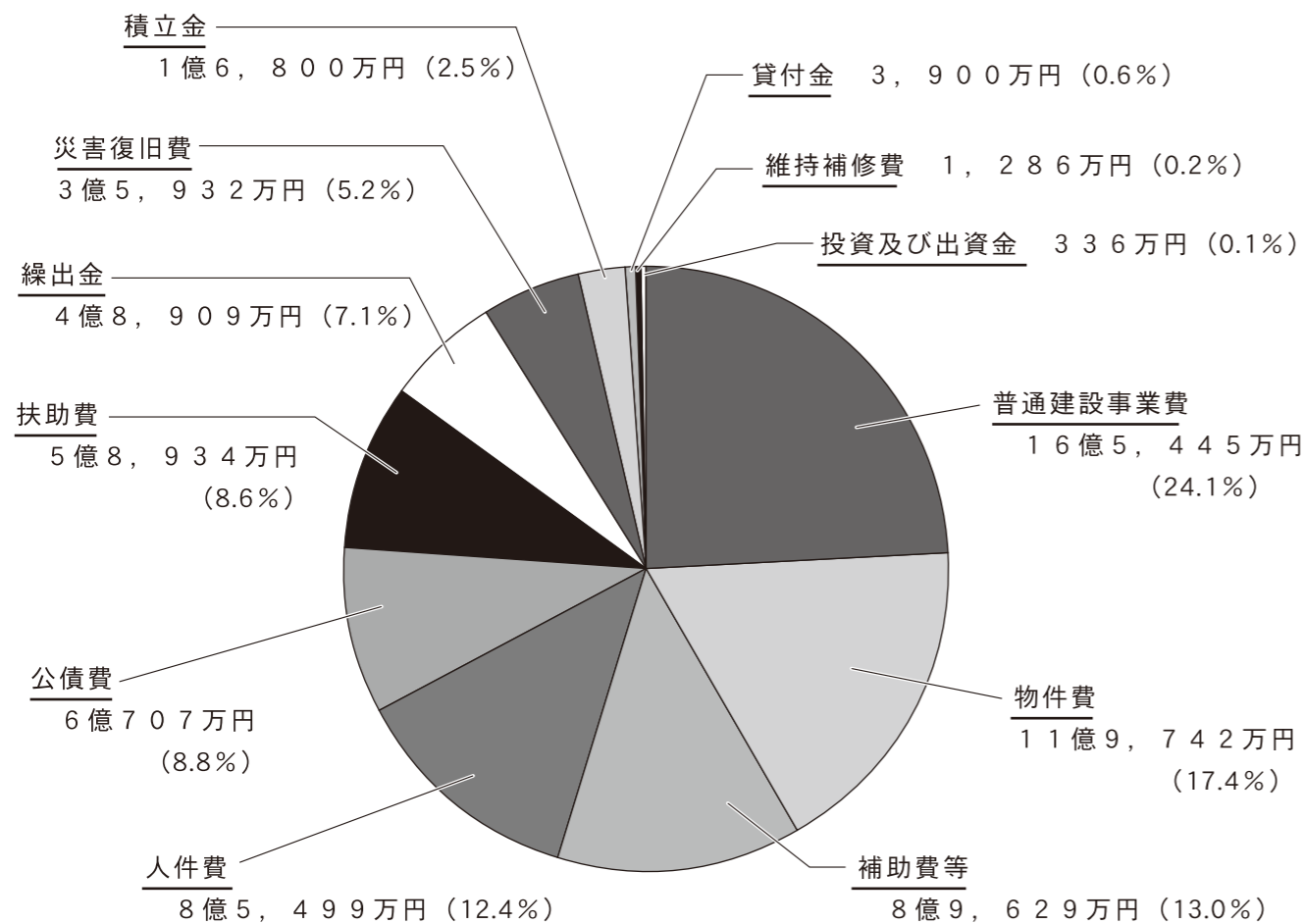
初議会で委員会構成も決まる

平成26年度の各会計決算認定については、9月16日の本会議において、決算審査特別委員会（古川文雄委員長外9名）が設置され、町長から提出された決算に係る関係書類に基づき、3日間の審査を行いました。

各会計決算の主な内訳や町債残高の状況、主要な財政指数及び財政健全化判断比率の報告を受け、各課各事業の内容等の説明の後、質疑回答方式により審議いたしました。

9月29日に、特別委員会の最終審査の中で採決を行い、その結果を10月1日の本会議において、「全会計において承認すべき」との委員長報告があり、決算書のとおり認定することといたしました。

一般会計決算 68億7,119万円の内訳



町債残高の推移

(単位：万円)

	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	増	減	増	減	増	減
普通会計	508,147	△1,256	501,043	△7,104	504,978	3,935
特別会計	410,423	△5,536	402,121	△8,302	395,296	△6,825
合計	918,570	△6,792	903,164	△15,406	900,274	△2,890

26年度各会計決算を認定



平成27年9月（第1回）定例会は、9月16日から10月1日までの16日間にわたって開かれました。

平成26年度の一般会計及び各特別会計決算認定については、決算審査特別委員会が設置され3日間の審議を経て、全会計を全会一致で決算書のとおり認定しました。

また、マイナンバー制導入に伴う個人情報保護条例の一部改正や、教育委員の任命同意、平成27年度補正予算8件等の全15議案が上程され、いずれも原案のとおり可決承認されました。

一般質問には5名の議員が登壇し、町政について問いました。



決算総額 103億6千万円 3億5千4百万円の黒字決算

平成26年度の上水道会計を除く全会計の総決算では、10,368,006千円（前年対比13.6%減）の歳入に対して、10,013,297千円（前年対比11.3%減）の歳出となり、実質収支で267,070千円（前年対比4.2%減）の剰余金を生じ、次年度繰越を行うこととなった。

(単位：千円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	実質収支
一般会計	7,093,037	6,871,188	221,849	149,436
国民健康保険特別会計	1,530,706	1,427,530	103,176	99,979
後期高齢者医療特別会計	97,098	93,310	3,788	2,664
介護保険特別会計	827,172	818,785	8,387	6,723
土地取得事業特別会計	39,024	39,000	24	24
工業団地事業特別会計	98,467	97,522	945	945
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	79,520	71,037	8,483	1,739
育英資金貸付費特別会計	7,689	7,688	1	1
公共下水道事業特別会計	528,818	521,502	7,316	4,819
農業集落排水事業特別会計	66,475	65,735	740	740
小計	10,368,006	10,013,297	740	740
上水道事業会計	265,819	210,562		55,257

* 実質収支とは、歳入歳出差引額（形式収支）から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した決算額です。

審議の結果（第1回定例会）

議案件名等	議案の概要	結果	小林	吉田	橋本	古川	菊地	長田	畑	井土川	大河原	今泉	木原	渡辺
教育委員会委員任命同意	添田健男氏の新委員任命同意	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員任命同意	関根さなえ氏の新委員任命同意	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鏡石町個人情報保護条例の一部を改正する条例制定	マイナンバー制度導入に伴う個人情報保護に関する改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定	マイナンバー制度導入に伴うカードの再交付手数料を定める等の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26年度上水道事業会計未処分利益剰余金の処分	地方公営企業法により31,000,000円積立処分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q今泉議員「3千万の積立について、企業会計積立金と建設改良積立金は同じものか。7月末の出納検査で、企業会計担保金が上水道事業会計担保金となっているのは何故か」 =A上下水道課長「同じ積立金である」 =A出納室長「名前が違っているが、内容は同じものである。今後名称を統一したい」														
26年度上水道事業会計その他未処分利益剰余金変動額の処分	その他未処分利益剰余金変動額55,049,570円を資本金に組み入れるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26年度各会計歳入歳出決算認定	26年度一般会計外10会計決算の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
一般会計補正予算(第2号)	基金積立79,8000千円、農地災害復旧工事費13,240千円等191,092千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	決算繰越金による保険給付費財源組替及び特定健診未受診者対策等35,014千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	決算繰越金による保険給付費財源組替及び特定健診未受診者対策等35,014千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
介護保険会計補正予算(第1号)	決算繰越による基金積立等12,611千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
工業団地会計補正予算(第1号)	南部工業団地事業費償還に1,110千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	駅東第1土地区画整理事業設計業務委託及び一般会計繰出金に6,974千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	事業決算により一般会計繰出金に4,818千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	事業決算により一般会計繰出金に738千円の補正増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○

* 渡辺議長は採決に加わらないため空欄

決算審査特別委員会

平成26年度の各会計決算審査特別委員会（古川文雄委員長）は9月25日（金）午前10時から開き、付託案件である平成26年度鏡石町各会計歳入歳出決算認定について、3日間にわたり担当課ごとに審査を行いました。
 特別委員会では、効果的な予算の執行をはじめ、多角的な視点から多くの質疑意見が出されました。そして慎重審議の結果9月29日（火）に各会計ごとに委員会における採決を行い、全11会計について認すべきものと決しました。



決算審査特別委員会で決算について審議



畑 幸一議員

○安心安全な生活の確保

○放射能検査

○防犯カメラ設置

全7項目を質問

質問

原発事故による風評被害が根強く残る中、農産物等食品の放射能検査と安全性確保は、どのようになっていくか。

産業課長

放射線モニタリング検査について、米は全量全袋実施され、野菜等の農産物は県のモニタリング検査と産地でのスクリーニング検査が行われている。町では学校給食と自家製野菜の検査を実施しているが、基準値を超える農産物は出ていない。

質問

犯罪の未然防止の観点から防犯カメラ設置は必要と思われるが、設置計画等は予定されているか。

総務課長

具体的な設置計画はないが、警察署や防犯協会等と協議し、必要に応じて設置したい。

質問

高齢化社会になり、地域密着型介護サービスは重要だが、内容はどうなっているか。

健康福祉課長

犯罪の未然防止の観点から防犯カメラ設置は必要と思われるが、設置計画等は予定されているか。

健康福祉課長

町としてはパッチ式積算放射線量計による個人線量測定や移動式ホールボロディカウンタースーツを利用した検査を実施している。

質問

県のスローガンである「うつくしまふくしま」を県全体で進めているが、町ではどの

ような美しい町づくりをしていくのか。

町長

町では震災復興計画を合わせ持った第5次総合計画を策定している。5つの行政分野で県の施策と歩調を合わせて事務事業を展開したい。

質問

町に若者が定住するような町づくりのために、どのようなアイデアを思い描いているか、具体的な方策はあるか。

総務課長

地方版総合戦略策定に向け、役場中堅職員中心に様々なアイデアが提案されている。働く場所の確保や子育て環境づくりが重要と考えている。

質問

不時沼地区に一部水はけが悪い箇所がある。冠水等水害対策は講じられているか。

都市建設課長

集水の要となっている箇所が冠水区域となっており、国道拡張に合わせて大口径の排水管を敷設した。



吉田孝司議員

○保健医療福祉

○環境問題

○防災・減災交通安全

全23項目を質問

質問

国が推進している地域包括ケアについて町として、現時点における課題そして将来の展望をどう考えているか。

産業課長

町は地域包括支援センターを中心に医療機関との連携を強化しているが、サービスの一部不足が現在の課題であり、認知症高齢者を支えるケアシステムが今後必要である。

質問

放射線被曝と健康管理につ



木原秀男議員

- 選挙投票率アップ
- いじめ不登校問題
- 住環境悪臭問題
- 全10項目を質問

質問
選挙運動について午前8時から午後8時まで長くはないか。申し合わせで午後6時までとか決められないか。

総務課長

公職選挙法では午後8時までとなっているが、申し合わせで出来るか調査する。

質問

高齢化社会の中で投票率アップのために、バスや車椅子といった配慮があってもよいのではないか。

質問

不登校生徒は8名いる。長期休業中の指導では学期中と同じような生活を継続させるように指導している。

質問

投票所まで来ることでできない方には不在者投票制度がある。バスや車椅子については今後検討したい。

質問

いじめ問題について、その実態を知らながら、隠そうとする学校の体質は改善されないものか。

教育長

いじめの捉え方にもよると考えられるが、本町では小学校で20件、中学校で1件の認知件数があった。

質問

住環境悪臭問題について、問題となっている土地の町道がアスファルトで固められているが、どのような指導をするか。

質問

無許可でコンクリート打設したのですが、事業主に撤去するよう指導を行い、本人も撤去している。

健康福祉課長

牛舎北側の田んぼへの汚水等の垂れ流しはないのか。汚水防止は万全か。

健康福祉課長

臭気測定及び水質調査を同時に実施しているが、共に問題は出ていない。

健康福祉課長

県でも空き家等対策連絡調整会議が設置された。町では空き家の状況を調査し、結果に基づき対策を講じたい。

質問

通学路の安全確保は学校や警察署と連携して安全対策を進めている。児童公園については定期的に点検を行い、遊び場の安全確保に努めている。

総務課長

高齢化社会となり、空き家対策も必要と考える。空き家を仲介するシステムをつくり、首都圏からも受け入れ出来る対応も必要ではないか。

質問

国道4号等交通網整備が進んでいるが、スマートインターチェンジ利用が時間や車両で制限されており、不便さを感じる。改善策等はあるのか。

町長

車両制限撤廃や24時間利用をしたいが、財政的問題もあるため、長期的に検討したい。

総務課長



今泉文克議員

- 地方創生 個性的な集落づくり ビジョン
- 子供の安全な遊び場
- 交通網と安全な道づくり
- 全5項目を質問

質問

地方創生では地域参加型や個性的な集落づくりのビジョンがあるべきだ。町執行のビジョンはどのようなものか。政策、対策を計画しているか。

町長

町中堅職員によるワーキンググループにおいて地方版総合戦略の素案作りを行っている。今後、有識者会議でさらに意見を聴取したい。

質問

町3役はじめ町政執行は20年以上、町職員出身者であるため、外部の意見も取り入れるよう町民提案型を進めるべきと考えるがどうか。

町長

私は職員と別という考えで仕事をしている。地方創生については専門業者、有識者をして女性の皆さんにもお力をいただきたいと考えている。

質問

少子化の時代、通学路や放課後の遊び場等の安心な位置付けは、どのようになっているか。

質問

鳥見山陸上競技場は午後5時までの利用となっている。施設改修には多額の予算が必要であり、引き続き補助制度等を調査研究したい。水曜日は特別使用を認めている。

質問

自主財源の確保として、町税等の収納は公平性の確保が重要だと考えるが、未納対策は、どうか。また、多目的広場は、5時以降利用できないのか、水曜日は特例か。

教育長

鳥見山陸上競技場は午後5時までの利用となっている。施設改修には多額の予算が必要であり、引き続き補助制度等を調査研究したい。水曜日は特別使用を認めている。

質問

消防団応援事業の協賛店の利用状況は、どの程度あるのか。また、協賛店は事業所のご厚意なのか。

質問

消防団応援事業は、町内の消防団活動支援隊設立以降、どの位になっているか。事故等はないのか。

総務課長

消防団活動支援隊設立以降、大きな火災は発生していないが、機械操作の訓練等や模擬火災訓練にも参加している。

質問

留地処分について説明がありました。

産業厚生常任委員会

新構成委員による 各常任委員会開催

第1回定例会

改選後の臨時議会において構成された各常任委員会は第1回定例会会期中に、それぞれ委員会を開催しました。

各委員の任期は2年となります。今回の委員会では、所管の報告や委員会研修の目的等を協議しました。



古川文雄議員

- 東京五輪直前合宿 誘致取組
- 自主財源確保
- 消防団応援事業
- 全6項目を質問

質問

6月に一般質問した、東京五輪直前合宿誘致についての取り組みは、その後どうなっているのか。

教育長

事前合宿誘致候補地ガイドに登録するには、国際連盟のIF基準を満たす必要があるが、本町にはこの基準の施設がない。

質問

鳥見山陸上競技場を改修し、照明設備を設置すべきと思う。

総務文教委員会

総務文教常任委員会（菊地洋委員長）は9月24日（木）午前10時から役場第一会議室で開きました。

所管事項として税務町民課から社会保障・税番号制度いわゆるマイナンバー制度への対応についての説明がありました。

次に、調査事項として教育課所管の歴史民俗資料館の運営状況等を調査し、施設管理



総務文教常任委員会

産業厚生委員会

産業厚生常任委員会（長田守弘委員長）では、9月24日（木）午前10時から役場第一会議室で開きました。

所管事項として健康福祉課から、町内に新たに建設が予定されている認知症高齢者グループホームについて報告がありました。

次に、都市建設課から国道4号拡幅工事の進捗状況や駅東第1土地区画整理事業の保



産業厚生常任委員会